



Suzuka University
of Medical Science

鈴鹿医療科学大学
〒510-0293 鈴鹿市岸岡町1001番地 1
TEL. 059-383-8991
<https://www.suzuka-u.ac.jp/>

No.
119

2022.7.29



令和4年度学友会が始動しました！

【学友会 会長】



令和4年度学友会 会長を務めることになりました 医療福祉学科 臨床心理学専攻3年の鈴木悠乃です。

直近の2年間は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により授業や課外活動はもとより、私たち学友会執行部も思うように活動ができないまま過ぎてしまいました。新年度に入り少しした頃から感染拡大も落ち着きを見せ始め、世の中の諸活動も大学における対面授業の増加やクラブ・サークル活動も徐々に再開され始めましたので、ようやく学友会活動も再開できそうな環境が整ってきました。

学友会は、在学生の皆さんが学科・学年を超えた交流が促進できるように、一つでも多く大学で楽しい時間を共有できるように、今しかない大学生活をより快適に過ごせるように取り組む団体です。

今年度も安全対策をしっかりと行った上で、ここ数年実施できていなかったバスツアーやクリスマスパーティー・コロナ禍前の規模に戻した大学祭の実施・清掃活動等を通して、学生同士の交流が深まるきっかけ作りを行っていきたく考えています。本学をより輝かしいものに出来るよう精一杯頑張りますので、是非学友会行事にご参加ください。よろしくお願いいたします。

【クラブ・サークル運営委員会 委員長】



クラブ・サークル運営委員会 委員長を務めさせていただくことになりました 看護学科2年の森川月花（書道部部长）です。

昨年度は、新型コロナウイルスの影響により課外活動停止期間や制限付活動期間が続き、どのクラブ・サークルも思うように活動ができなかったですが、今年度は少しずつではありますが日常生活もコロナ禍前の状況に戻りつつあります。

先日は、新入生を対象とした『クラブ・サークル紹介』を、3年ぶりに対面で実施することができました。各団体とも工夫を凝らした動画や実演で魅力を伝えていましたが、1年生の皆さんは、興味のあるクラブ・サークルはありましたか？各団体とも、沢山の仲間と楽しく一緒に活動できればと考えていますので、迷っている方は是非入部をご検討ください。

皆さんが課外活動を通じて学年や学科の垣根を超え、たくさんの出会いや交流の機会が増えるよう、また、クラブ・サークルに所属する学生一人ひとりが安心して、充実した活動が行えるよう、力を尽くしていきたいと思っています。未熟で至らない点も多々あると思いますが、精一杯頑張りますので1年間よろしく願いいたします。

<学生課>

学友会

学友会主催『キャンパスツアー』を開催！

保健衛生学部 医療福祉学科 臨床心理学専攻 3年 鈴木 悠乃



新入生及び新2年生を対象に、学友会主催の『キャンパスツアー』を実施しました。開催にあたり、手指消毒の徹底やマスクの着用、人数制限を設け小グループごとに誘導を行うなど、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を十分に行った上で開催しました。

4月14日(木)に実施した千代崎キャンパスツアーでは、研究厚生棟・講義棟・実験棟などの各棟を回り、教室番号の規則性やグループ学習室・テニスコートの貸出手続方法等の説明を行いました。中でもJART記念館にある食堂「レムシャイド」を知らない人が多く、今度利用してみたいとの声が聞けて良かったです。

4月21日(木)に実施した白子キャンパスツアーでも、1～7号館・講堂・2か所ある学生食堂などを回りました。参加者は1年生がほとんどであったため、初めての大学生活が快適に楽しく過ごせるよう、空き時間に自習やお喋り・パソコンが自由に使える施設の他、学科によっては普段立ち入ることがない施設の紹介も行いました。また、同時にキャンパスツアーを通して異なる学科・学年の学生同士が交流できる機会でもあったため、参加学生の楽しんでいる様子や、学生間の新たなつながりを作り出せたことはとても嬉しく思いました。

学友会では、今回実施したキャンパスツアー以外にも、学生同士の交流が促進できるような取り組みを計画していますので、機会がありましたら是非参加してみてください。

最後に、今回参加していただいた学生の皆さん、実施にあたりご協力くださいました両キャンパスの事務局の方々、本当にありがとうございました。

<学生課>



学友会

令和4年度クラブ・サークル紹介を開催！

学友会副会長・保健衛生学部 放射線技術科学科 3年 中林 乃麻

クラブ・サークル紹介は、これまで新入生オリエンテーションの中で実施していましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、昨年、一昨年はオンラインでの開催、今年度もオリエンテーション内での実施が叶わなかったため、実施時期を変更するとともに、感染拡大防止対策を十分に行った上で、白子キャンパス講堂において3年ぶりに対面で実施しました。

実施日の5月26日(木)は、全クラブ・サークルと学友会執行部・大学祭実行委員会の計36団体が、ユニフォームを着用するなどして、日頃の活動の様子を動画や実演により魅力を伝えながら紹介・勧誘を行いました。

また、開催が5限終了後の遅い時間帯ではありましたが、多くの1年生に参加していただけたことで、課外活動への関心の高さも感じることができました。



学友会では、学科・学年を超えた交流は学友会行事への参加と課外活動団体への加入が最も適していると考えていますので、少しでも興味を持ったクラブ・サークルがあれば是非参加してみてください。

最後に、今回参加していただいた1年生の皆さん、ご協力くださいました各クラブ・サークル代表や事務局の方々、本当にありがとうございました。

<学生課>



ボランティアセンター 学外清掃活動を行って



新型コロナウイルス感染症の影響により、約2年間活動を自粛していた学外清掃のボランティア活動を再開しました。

6月23日(木)は2・3年生を中心に40名ほどが千代崎キャンパスから田古知川周辺にかけて、日差しが照り付ける中で清掃に励みました。7月14日(木)は3年生を中心に15名が、田古知川周辺の草が生い茂る中、草をかき分けながらの作業に苦戦しながらも一生懸命に清掃を行いました。

参加した学生からは、「大学周辺がこんなにもゴミだらけだったことにショックを受けた」「地域の方から『ありがとう』と声をかけていただいたことが嬉しかった」「協力して同じ課題に取り組む達成することの大切さを学んだ」といった感想がありました。

今後も活動を継続し、キャンパス周辺の環境保全に取り組んでいきます。

<学生課>



開院して6年目を迎えたころのクリニックについて

ころのクリニック院長・保健衛生学部 医療福祉学科 教授 大谷 正人

2017年5月に開院した鈴鹿医療科学大学附属ころのクリニックは、2022年5月には、6年目を迎えることになりました。この間、クリニックを受診される患者様の延べ数は、2017年度から2021年度までの5年間で、それぞれ1,103人、1,991人、2,411人、2,613人、2,831人と増え続けています。2021年度までは当クリニックでの診療は、週14時間、医師一人というように、診療時間が限られていましたが、2022年度からは、週20.5時間、医師二人となり、専門分野の異なる医師による、より充実した診療体制となりました。2022年度は4、5月のペースで推移すると、患者様の延べ数は4,000人を超えることが予想されています。

受診された方々の大きな特徴は、3歳から18歳までの子どもが多いことで、受診された方々の約8割は、毎年この年代の子どもたちとなっています。学生の教育に関しては、医療福祉学科臨床心理学専攻生の実習の場ともなっており、医療科学研究科臨床心理学分野の大学院生の場合は、事前にご了承をいただいた患者様の診察の陪席も可能な場合があります。

地域社会に貢献するとともに、学生の教育の資することを目的として、5年前に開院して診療を続けていますころのクリニックにつきまして、今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

看護学部・国際交流委員会共催講演会「感染症のパンデミック下での対応」

看護学部国際交流委員会・看護学部 看護学科 教授 田中 和奈

看護学部の国際交流委員会では、英国で活動する日本人看護師との交流会などの国際交流イベントをこれまでに開催してきました。今年度の国際交流委員会行事として、看護学部と全学の国際交流委員会共催講演会を全学生と全教職員を対象に、5月25日(水)に開催しました。講演会は看護学科3年生の国際看護論の講義枠内で対面とオンラインで行い、当日講演会に参加できない場合はオンデマンド視聴で受講できるように対応を行いました。

講師には、新型コロナウイルス感染者が発生した、ダイヤモンド・プリンセス号での感染症対策に従事されたJCHO東京新宿メディカルセンターの溝尾朗医師をお招きし、「感染症のパンデミック下での対応」というテーマでご講演いただきました。



溝尾先生からは、ダイヤモンド・プリンセス号での医療活動やシンガポールで医師としてニパウイルス感染症の治療に取り組まれた経験についてお話いただきました。海外での感染症対策や医療活動の実状と課題について学べる貴重な機会となり、参加学生の皆さんからは、海外での医療活動への関心が高まったという感想が寄せられました。

国際交流について、学生の皆さんに関心を抱いてもらえるような活動を今後も企画していきたいと考えています。

診療放射線技師法改正に伴う告示研修を開催

保健衛生学部 放射線技術科学科 助教 荒井 信行

厚生労働省告示第273号研修(以下、告示研修)が、6月25、26日の土日で三重県会場の本学において開催されました。診療放射線技師法改正に伴うタスク・シフト/シェアに含まれる業務拡大の告示研修は、診療放射線技師籍登録者全員に受講する義務が課せられており、動画視聴による基礎研修、さらに実技研修を修了する必要があります。各日上限の48名の参加者に対して、三重県診療放射線技師会の開催スタッフによる準備と進行のもと、医師、看護師、また事前に養成研修を修了しているファシリテーターによる実技研修が行われました。具体的には、静脈路を確保する行為、RI検査医薬品の注入装置を操作する行為、動脈路に造影剤注入装置を接続し操作する行為、下部消化管検査のために注入した造影剤および空気を吸引する行為、上部消化管検査のために挿入した鼻腔カテーテルから造影剤を注入し抜去する行為について、規定の実技研修が行われました。



法改正による義務研修ということもあり、三重県内外からの参加者は臨床現場で実際に医療行為を行うことを見据えて積極的に受講されていました。特に診療放射線技師が静脈路確保のための静脈穿刺が可能になることは業務拡大として大きな位置づけであり、講師の本学看護学科の先生方には非常にわかりやすく懇切丁寧な指導を行っていただきました。同研修はこの先も継続して開催される予定であり、長期的には本学科の学生のカリキュラムにも含まれていく内容になっています。

医療人底力実践Ⅰ・Ⅱの取組みについて

医療人底力実践Ⅱ 成年年齢の引き下げに伴う消費者教育講演会を開催

医療人底力教育センター長・薬学部 薬学科 教授 福田 八寿絵

5月14日(土)医療人底力教育の一環として、成年年齢の引き下げに伴う消費者教育講演会を1年生を対象にオンラインで開催しました。講師として弁護士の楠井嘉行先生にご講義いただきました。

講演会の目的は、本年度4月より民法が改正され、成年年齢が20歳から18歳に引き下げられたことが及ぼす影響、特に消費者トラブルについて考えてもらうことにあります。

学生の皆さんから以下のように講演についての感想がありました。

- 今回の講義を受けて、成年年齢が引き下げられ、改めて自分が大人になったということを再認識しました。
- 自分が責任をもって行わなければ取り返しのつかない大変なことになりかねないため、自分が行う契約行為が安全なのかをしっかりと確認しなければいけないことがよくわかりました。
- 不用心なことがどれだけ危ないかが、とてもよく理解できました。大人になったという自覚を持ち、日ごろから気を抜かないように生活していこうと思いました。とてもためになる講義でした。
- これからは成人であることを自覚して、大人の一員として恥ずかしくない行動をとっていきたいです。
- マルチ商法やキャッチセールスなどは、高校の時に授業で注意しなければならないことだと習ったことがありましたが、それを今回の講演会で改めて気を付けようと思いました。
- 大人になってできることも増えましたが、それに伴う責任がついてくるので気を引き締めたいです。

以上のように、具体的な事例を挙げての講演であったため、理解が深まった内容であったと思います。この講演会を機に学生の皆さんが、消費行動を含め、成人として自覚を持った行動につなげていただければと願っています。

■ 成年年齢引き下げの問題点

➡ 消費者被害の拡大の懸念

これまで、未成年者が親の同意を得ずにした契約は原則として取消が可能でした(民法5条:未成年者取消権)。

成年年齢が引下げられると、18歳、19歳の方は親の同意なく一人で契約できることになる一方で、未成年者取消権を使うことができなくなるので、悪徳商法などによる消費者被害に遭うことが心配されています。



契約や契約を取り消す方法について、自分できちんと考え、知識を持つことが重要です!!

- うまい話はうのみにせず、きっぱり断りましょう
- クーリング・オフや消費者契約法など、消費者の味方になるルールを身につけましょう
- トラブルに遭ったと感じた場合は、親や先生、最寄りの消費生活センター等に相談しましょう

1年生が地元IT企業勤務先輩の講演を聴講

医用工学部 医療健康データサイエンス学科 教授 窪田 英明

5月19日(木)、医療人底力実践Ⅰ(学科プログラム)の一環で、株式会社ミエデンシステムソリューション・ソリューション本部・ヘルスケア事業部に勤務の岡田智樹様(医用情報工学科卒業生)に講演をして頂きました。

医療機関向けソリューションの業務紹介、業務と資格(医療情報技師)の関連、そして、先輩目線での学生生活アドバイスをしてくださいました。大変感謝しています。下記に1年生の感想レポートの一部を紹介します。感想レポートは匿名化して岡田様にフィードバックさせて頂きました。

- お客様のニーズにあったシステムを開発する企業では、どのようにお客様に対応しているのだろうと不思議に思っていたのですが、オーダーメイドで行っていると知ることが出来ました。
- 資格を記載した名刺で営業している姿を想像するとかっこいいなと思いました。
- 就職活動では会社をよく調べ、実際に働いたとき、続けていけるのかまで考えることが必要なことだと分かりました。

最後になりますが、同社ヘルスケア事業部長 深田拓生様、課長 糟谷智之様、更に、採用ご担当の管理本部 課長 鈴木愛沙様にも、ご多忙のなかオブザーバ参加を賜り、当学科学生のキャリア育成に大きな関心を持ってくださり、大変感謝しています。



オンライン診療システムの紹介



マニアックなPC趣味も仕事に活かせる話

「救急救命観」の構築に向けて

保健衛生学部 救急救命学科 准教授 久保田 千景・助教 犬塚 渡・学科長 鈴木 哲司

本学で救急救命士を目指す学生は、大学4年間の学修を通して自らの『救急救命観』について洞察を深め構築していくことになります。救急救命学科の学科プログラムとして展開される医療人底力実践Ⅰにおいて、『救急救命観』を入学時の早い段階から認識させることを目的に、まず「自己について知る・表現する」ことを学びました。次に「職業とは何か」を知り、個々人の『職業観』をグループで共有しました。学生の人生には発達段階やそれに応じた発達課題があることを学び、また人は家族の中でそして社会の中で様々な役割を担っていることから「役割理論」について学びました。『職業観』や「役割理論」を基盤に、「救急救命士の役割」と『救急救命観』について自らの言葉で説明させ、グループワークを通じて「救急救命士の役割」を整理した上で『救急救命観』について学生相互で共有及び討議を行いプレゼンテーションの準備・実施をさせる授業を行いました。

学生の主体性を促すアクティブラーニングを取り入れての教育は、医療専門職としての自覚を促すとともに、学生自身のキャリアデザインにもつながるものです。大学におけるキャリア教育の充実がいわれていますが、学生が目指す救急救命士という職業意識をより強く認識させることで学生の価値観の変容を促し、『救急救命観』を構築することで学修のモチベーション維持と向上につながるキャリア教育になると考えます。

病院施設見学を実施して

保健衛生学部 医療栄養学科 准教授 金山 和樹



5月12日(木)、19日(木)、26日(木)の医療人底力実践Ⅰ(学科プログラム)の中で病院施設見学を実施しました。この病院施設見学は新1年生に対して医療人としての心構えを早期に身に付けさせるための体験学習として重要なプログラムですが、2020年度、2021年度は新型コロナウイルスの影響により実施することができていませんでした。しかし今年度は、鈴鹿中央総合病院様、市立四日市病院様のご協力により少人数制で3日間に分けて実施することができましたので、ここにご報告させていただきたいと思います。

病院施設見学では両施設とも生理検査室(心電図検査、脳波検査、超音波検査)、検体検査室(一般検査、血液検査、免疫・生化学検査、微生物検査、輸血検査、病理検査)の見学をさせていただき、学生たちは緊張しながら各検査室での業務内容と検査機器の説明を真剣な表情で聞いていました。病院施設見学後、学生から「将来の働く場を見られて良かった」と多くの感想がありましたので、この体験は学生たちにとって大きな収穫であったことと思います。また、「臨床検査は人の手でやっているものと思っていたが、大型の機器を使用しているのは意外だった」などの感想もあり、この体験を通して学生たちに気付きを与えることもできましたので非常にプラスになったと感じています。最後に病院施設見学にご協力くださいました施設の先生方、本学教職員の皆様方に厚く御礼申し上げます。

<臨床検査学専攻>

3年ぶりのお灸作り

保健衛生学部 鍼灸サイエンス学科 助教 宮脇 太郎



鍼灸師が用いる治療道具の一つにお灸があります。お灸の材料は、ヨモギの葉の裏面の白い毛から作ります。

鍼灸サイエンス学科では、医療人底力実践Ⅰ(学科プログラム)の‘自職種理解’として、ヨモギからお灸を作ります。ヨモギは多年草の植物で、白子キャンパス内にも多く自生しています。4月14日(木)に新1年生全員でヨモギ採集を行い、採集したヨモギは、1か月程乾燥させて、5月12日(木)にお灸作りをしました。新1年生にとっ

ては初めての体験で、鍼灸サイエンス学科としても、実に3年ぶりのお灸作りです。本格的なものは様々な機器が必要ですが、簡単な物は手作りできます。学生は、乾燥させたヨモギを両手で揉み、葉以外の部分を落とします。その後すり鉢で粉碎し、ゴミを取り除く作業を繰り返し、お灸の完成となります。

ヨモギ採集や、ヨモギからお灸作りに協力して取り組む姿は、入学して間もない学生同士とは思えない程連携がとれており、楽しめていました。また、自身が用いるお灸が、身近な植物から自作できることに感動している様子は非常に新鮮でした。

お灸以外でのヨモギの活用法の調査では、最近鍼灸院でも多く取り入れている「ヨモギ蒸し」に興味を示す学生が多くみられました。

今回の体験で、治療で用いる道具へ愛着がわいたことと思います。鍼灸師の職種理解を深めることで、他職への興味を持ち、連携がとれる医療人に育つことを願っています。



精神保健福祉援助実習指導に係る実習報告会を開催

保健衛生学部 医療福祉学科 准教授 合田 盛人

6月25日(土)精神保健福祉援助実習指導に係る実習報告会を開催しました。これは、医療福祉学専攻で精神保健福祉士養成課程を選択している3年生が、毎年度2～3月に行っている精神保健福祉援助実習(障害福祉サービス事業所8日間60時間・精神科病院12日間90時間―合計150時間)にて学んだことを4年次で振り返り、専攻の教職員、下級生、実習指導者へ報告するものです。

昨年度の精神保健福祉援助実習は、新型コロナウイルス感染症の影響で急遽学内実習へと切り替えたため、2年ぶりの現場実習となりました。実習の時期は、新型コロナウイルス感染第6波の時期と重なり、実習の安全が完全に確保されたものではありませんでしたが、精神科病院および障害福祉サービス事業所での実習は、精神保健福祉士をめざす学生にとって大変大きな学びになります。担当教職員間で何回もミーティングを行い、学科専攻会議において協議した結果、十分な感染対策を行ったうえ、コロナ禍でも実習を受け入れていただいた実習施設にて、6名の学生が無事に実習を修了することができました。

報告会当日は、県内外の実習施設から3名の実習指導者にもお越しいただき、実習を受け入れていただいた実習施設の職員、患者、利用者の方々へ感謝の気持ちを込めて報告しました。6名の学生がそれぞれに「患者との関わりを

通して自らを理解する」「将来を見据えた関わり方」「当事者との向き合い方」「利用者主体の支援を知る」「障害者の地域自立生活に必要な社会資源と待つ支援」「変化の可能性を引き出すために利用者理解を深める」というタイトルで、精神障害者の方々とかかわり、向き合い、今なお社会にある精神障害者への差別偏見を実感し、専門職として支援するということはどういうことかを報告しました。そして、この実習を通して、学生が自分自身を振り返ることで自己覚知することができ、実習前と比べ大きく成長できたと思います。これから社会人として、地域社会で生きていく学生にとって、とても貴重な機会となったと思います。

<医療福祉学専攻>



令和3年度臨地・校外実習報告会を開催

保健衛生学部 医療栄養学科 准教授 吉村 智春

医療栄養学科管理栄養学専攻の4年生が、臨地実習Ⅰの報告会を5月26日(木)、臨地実習Ⅱの報告会を5月19日(木)にハイブリッド方式で行いました。

臨地実習Ⅰの報告会では1福祉施設の管理栄養士の先生方が遠隔、2福祉施設と退職された江口澄子先生(臨地実習Ⅰの担当教員)が対面、Ⅱの報告会では8医療施設が遠隔でご参加をいただきました。また、3年生の学生が今年度2月から始まる臨地実習の事前学習として参加をしました。

令和3年度の臨地実習は新型コロナウイルス蔓延防止対策のために、福祉施設(臨地実習Ⅰ)では多くが遠隔になりましたが、本学で行われた現場の先生方の講義や実習、遠隔講義などは、栄養管理に対応した給食管理が体験できたようです。医療施設(臨地実習Ⅱ)は施設のご協力で現場実習が行われましたが、一部実習のできない期間は遠隔講義や模擬栄養指導などを取り入れて行われました。チーム医療の重要性や栄養診断のあり方などを医療現場で習得できたようです。これらの内容は学内の先生方の協力もあり、学びがあったことが学生の報告から伝わってきました。

報告会に参加していただいた病院および福祉施設の管理栄養士の先生、米田操学科長、三浦俊宏専攻長、事前学習からご指導された江口先生、堀田千津子先生の講評を聞き、1年後には管理栄養士となっている4年生や本年度実習を行う3年生の気持ちが引き締まった様子が印象的でした。令和3年度は、実習施設の先生方と学内の先生方の連携で実りある実習になったのだと思います。本年度は新型コロナウイルスの状況が落ち着き、通常の実習が実施できることを願っています。

<管理栄養学専攻>



新カリキュラムに向けた実習室確保と実習機材の見直し

医用工学部 臨床工学科 助教 最明 裕介

本学科では多くの医療機器や工学機器を保有しており、実習機材として学内実習に使用しています。実習機材の充実が本学科の強みであり臨床工学技士養成校には欠かせないものです。現在も病院で使用中の機器を扱うことで即戦力となる臨床工学技士の育成を目指し、今では手に入らない昔の機器からは歴史を学ぶこともできます。しかし多くの実習機材を保有することで場所が取られるという問題もあります。

今回2023年度より適用される新カリキュラムに向けて、新しい実習室の確保が求められました。実習室確保のため250台以上の機器が除却予定となり、リストからメンテナンス・使用状況・耐用年数等を洗い出し、各担当教員への確認・機器移動・除却を行いました。当初、新規の実習室確保に向けた取り組みでしたが、既存の実習室の見直しなど様々な波及効果が得られました。

実習機材は臨床工学科の学生にとって重要な役割を果たすものであり、教員自らが選定を行うことで充実した学内実習が可能です。今後、本学科では新カリキュラムに向けた新規の実習室を使用し、臨床に求められる人材の育成をしていく所存です。

今回の機材除却処分は教員のみでは達成することはできませんでした。協力してくださった関係者各位の皆様に、この場を借りて御礼申し上げます。



新規に確保した実習室

第32回三重県作業療法学会の学生発表体験

保健衛生学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻 4年 佐藤 楓那・島村 ナミエ

- 3月6日(日)、オンラインで行われた第32回三重県作業療法学会にて、シンポジストとして発表させていただきました。「学生から見た作業療法」というテーマで、実習で学んだ「作業療法の目線」や「作業療法の実践」について発表しました。

初めての学会に参加し、シンポジストとして発表することは緊張しました。今回の発表を通して実習で学んだことを復習したり、「作業療法」についてももう一度考えたりすることができ、とても貴重な経験となりました。

また、学会に参加している作業療法士の方に「大切にしていること」をたくさん教えていただきました。教えていただいたことを、4月から始まる総合実習や卒業後の臨床の場で生かしていきたいと思います。【佐藤楓那】

- 第32回三重県作業療法学会で演題発表をしました。今回、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、ライブ配信でのオンライン開催でした。卒業研究として取り組んだ「上肢リハビリテーション支援システム使用時の傾斜角の違いが筋活動に及ぼす影響」について発表しました。上肢リハビリテーション支援システムを用いる際に、傾斜角を変更することで、三角筋と上腕三頭筋の筋活動を選択的に促すことが可能であり、臨床現場での使用へとつなげていくことができることを報告しました。

学会発表は初めての経験であり、とても緊張してしまい、質疑応答では悔しい思いもしましたが、様々な療法士の発表を聞くことができ、とても貴重な経験になりました。また機会があれば挑戦していきたいと思います。【島村ナミエ】



学科プログラムの感想「理学療法士への抱負」

保健衛生学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻 1年 太田 佳祐



私の理学療法士への抱負は、患者さんに寄り添い皆から慕われる理学療法士になることです。私は、小学校6年生の時、野球の練習中に肘を剥離骨折し理学療法を受ける機会がありました。理学療法を受けたことで骨折から回復し、小学校最後の大会に無事出場することができました。この経験がきっかけでリハビリの仕事に興味を持ち、理学療法士を志そうと思いました。

現在、医療人底力教育の学科プログラムの講義では、先生方や障がいを持つ方から、リハビリの実際や内容などを聞いています。講義を受けて感じたことは、リハビリの種類の多さです。色々な分野で理学療法が展開されていると知りました。多くの専門知識を身につけあらゆる分野に対応できるようになりたいと思いました。また、障がいを持つ方の講話から、理学療法士は患者さんと直接関わる時間が長い仕事であることを学びました。患者さんが直に喜んでもらえる姿を目にすることができ、また、それによって自分も達成感を感じることができる非常にやりがいのある仕事だと改めて思いました。

加えて、コミュニケーション能力の重要性も強く感じています。色々な情報を関連職種と共有していくので、とても大切なことです。勉強だけでなく、多くの人と関わり他人と価値観を共有し共感できる人間性も大切であると感じました。大学生活を通してこれらを高めるように頑張っていきたいです。

中高生向け薬剤師啓発事業検討会の取組み (三重県薬剤師会・三重県病院薬剤師会・鈴鹿医療科学大学)

薬学部 薬学科 教授 藤川 隆彦

少し前になりますが、2020年9月20日(日)、三重県薬剤師会、県病院薬剤師会、本学薬学部との連携により、若年層に向けて薬剤師の魅力を伝え、県内薬剤師を増やす目的で、中高生向け薬剤師啓発事業検討会を開会しました(土日活用)。

その背景には、薬剤師の充足状況において大学薬学部が集中する都市部が高く、三重県では2020年の統計で人口10万人あたりの薬局・医療施設従事薬剤師数は171.7人と全国平均198.6人を下回っており(全国順位47都道府県中41位(2018年順位37位))、県民医療の中心となる中小病院では薬剤師の確保に困窮しています。そのため、本検討会では、中高生に向けて薬剤師の魅力を伝える目的で、新リーフ

レットとクリアファイル(記:君たち!薬剤師を目指してみない?)、シャープペンシル(記:県薬剤師会、県病院薬剤師会、本学)、漫画等を用いた薬剤師の仕事紹介資料(小中高生向け)などを作成しました。薬学科では、県内高校訪問、ガイダンス講義、オープンキャンパス、薬学部訪問者への個別対応等で活用させていただいています。

中長期的な対策として三重県内の高校生の薬学部への進学率を高めることが重要であると考え、中学生、高校生を対象とした動画(3-5分)を作成し、県薬剤師会ホームページに掲載しました:①君たち!薬剤師をめざしてみない? ②薬剤師の仕事について ③鈴鹿医療科学大学について ④病院薬剤師の紹介。引き続きご協力をお願い申し上げます。



2022年度教育支援の会「総会」の審議結果報告

本年度の総会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、昨年度と同様総会に代わって役員会(書面決議)で審議を行った結果、以下の審議事項は全員一致で議決されましたことをご報告致します。

<議案>

議案1 2022年度新委員

議案2 2021年度事業及び収支決算報告について

議案3 2022年度事業計画及び予算(案)について

また、10月2日(日)には、「保護者個別懇談会」を予定しております。

新型コロナウイルス感染症の拡大が1日でも早く収束し、会員の皆様と笑顔で再会できることを願っております。

<教育支援の会事務局・学生課>

2022(令和4)年度教育支援の会 会長 鈴木 学

会員の皆様初めまして、平素は教育支援の会にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。三年間に亘り対面での総会を中止させていただくこととなり、会員間での意見交換ができず、大変心苦しく残念です。さて、本会の目的は学生一人一人が勉学や学内課外活動に集中できるよう可能な限り支援を行うことにあります。高齢化社会を迎えるにあたり、これからの医療業界は、職種を超えて分担する「タスクシェア」や一部を移管する「タスクシフト」が求められており、本学で学ぶ知識や経験はますます重要となります。そのような大切な学びの場において、環境を整備することで誰もがやりがいや誇りを持てる学生生活の一助となることができればと考えております。コロナ禍という特殊な時世ではありますが、一日もはやく普通の日常生活に戻ることを願いつつ、今後とも本会へのより一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

教育支援の会 2021年度収支決算報告書

(自) 2021年4月1日～(至) 2022年3月31日

(単位: 円)

収入	繰越金	前年度繰越金	53,566,902	内 訳	
		前年度未払金	0		
	会費収入	新入生 (4 年制)	28,120,000	薬学科以外の8学科 586名分	23,440,000
		新入生 (6 年制)		薬学科78名分	4,680,000
		編入生	20,000	3 年次1 名	20,000
	利息	利息	171	定期預金利息	171
合計 (A)			81,707,073		

(単位: 円)

支出	今年度補正後予算				決 算 額	予算－決算
	科 目	金 額	内 訳	金 額		
学生生活指導費			新入生歓迎会助成	0	0	0
	学友会行事協力費	3,200,000	謝恩会助成	3,200,000	3,200,000	0
	課外活動助成費	2,000,000	クラブ・サークル活動助成	2,000,000	2,000,000	0
	大学行事協力費	3,290,000	大学祭助成	3,290,000	3,290,000	0
			大学周辺清掃時飲物代助成	0	0	0
	学生指導補助費	3,164,450	新入生オリエンテーション	164,450	164,450	0
			学生相談室関連補助	3,000,000	3,000,000	0
	学生生活広報費	1,000,000	大学広報費作成補助	1,000,000	1,000,000	0
	実習検査助成費	2,600,000	実習用抗体検査費用助成	2,600,000	2,600,000	0
	施設設備充実費	900,000	設備・備品助成	900,000	900,000	0
	コロナ対策協力費	5,000,000	コロナ対策助成	5,000,000	5,000,000	0
	小 計	21,154,450			21,154,450	0
就職対策補助費	就職対策補助	4,700,000	就職指導関連補助	4,700,000	4,313,383	386,617
	小 計	4,700,000			4,313,383	386,617
教育研究補助費		600,000	書籍購入補助	600,000	600,000	0
	小 計	600,000			600,000	0
運営費		1,492,967	総会・学科別懇談会諸費用	57,148	57,148	0
			保護者懇談会諸費用	1,335,819	1,335,819	0
			役員会諸費用	100,000	48,162	51,838
	小 計	1,492,967			1,441,129	51,838
予備費		742,583		742,583	604,288	138,295
	小 計	742,583			604,288	138,295
予算額計		28,690,000	決算額合計 (B)		28,113,250	576,750

未払金 (2021年度経費分) ※ (C) 341,710

2022年度への繰越金 (A)－(B)＋(C) 53,935,533円 (2022年3月31日預金残高)

教育支援の会 2022年度収支予算 (案)

(自) 2022年4月1日～(至) 2023年3月31日

(単位: 円)

収入	内 訳		
	繰越金	53,593,823	前年度繰越金 53,935,533
	現金繰越金	0	前年度未払金 ▲ 341,710
	会費収入	29,760,000	前年度現金繰越金 0
			薬学部以外の9学科 621名分 24,840,000
			薬学部 82名分 4,920,000
	編入生	20,000	4 年次2 名 20,000
	利息	171	定期預金利息 171
合計 (A)			83,373,994

2022年4月1日現在 学生数 2,937名 2022年度予算額目安 29,370,000 (学生数×10,000円)

(単位: 円)

支出	今年度予算				2021年度実績	備 考
	科 目	金 額	内 訳	金 額		
学生生活指導費	学友会行事協力費	4,200,000	※1 新入生歓迎会助成	1,000,000	0	歓迎会・クラブ紹介・パンフレット等作成
			謝恩会助成	3,200,000	3,200,000	謝恩会
	課外活動助成費	2,000,000	クラブ・サークル活動助成	2,000,000	2,000,000	活動支援
	大学行事協力費	3,330,000	大学祭助成	3,290,000	3,290,000	学科発表の増数(学科の改組に伴う専攻新設)
			大学周辺清掃助成	40,000	0	年2回実施
	学生指導補助費	3,800,000	※2 新入生オリエンテーション助成	800,000	164,450	新入生へのメッセージ冊子配布・他
			学生相談室関連助成	3,000,000	3,000,000	学生相談室における学生への対応の充実
	学生生活広報費	1,000,000	大学広報費作成助成	1,000,000	1,000,000	広報誌の制作・郵送
	実習検査助成費	2,000,000	実習用抗体検査費用助成	2,000,000	2,600,000	実施業者との調整
	施設設備充実費	900,000	設備・備品助成	900,000	900,000	寄贈備品
	コロナ対策協力費	0	コロナ対策助成	0	5,000,000	協力金
就職対策補助費	就職対策補助費	6,700,000	就職指導関連助成	6,700,000	4,313,383	ガイダンス・講座・説明会等の支援
			書籍購入助成	600,000	600,000	学生図書購入助成
教育研究補助費		600,000	総会・学科別説明会諸費用	700,000	57,148	総会・学科別説明会開催(6月9日)
			保護者個別懇談会諸費用	1,700,000	1,335,819	保護者個別懇談会開催(10月6日)
運営費		2,580,000	役員会諸費用	180,000	48,162	役員会(2月2日)開催、等
予備費		2,260,000		2,260,000	604,288	学生の学会での発表に関する交通費等助成、クラブの全国レベルの大会出場助成、学生への香典、消耗品等、予算項目外の支出に対応。
合計		予算額計 (B)	29,370,000		28,113,250	

次年度繰越予定金額 (A)－(B) 54,003,994円

※1・2 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催は延期、もしくは規模を縮小する方向で検討しております。

学校法人鈴鹿医療科学大学 令和3年度決算報告

●資金収支計算書 令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位：円)

収入の部	金額	支出の部	金額
学生生徒等納付金収入	4,412,083,300	人件費支出	3,128,503,804
手数料収入	78,897,248	教育研究経費支出	1,243,910,782
寄付金収入	28,156,614	管理経費支出	330,573,757
補助金収入	621,970,816	借入金等利息支出	27,315,887
資産売却収入	817,053,299	借入金等返済支出	281,640,000
付随事業・収益事業収入	282,202,334	施設関係支出	556,818,125
受取利息・配当金収入	112,878,175	設備関係支出	441,958,161
雑収入	175,316,990	資産運用支出	816,722,619
借入金等収入	0	その他の支出	269,300,645
前受金収入	866,045,420	資金支出調整勘定	△ 506,813,498
その他の収入	153,453,928	翌年度繰越支払資金	3,614,590,034
資金収入調整勘定	△ 1,033,892,699	支出の部合計	10,204,520,316
前年度繰越支払資金	3,690,354,891		
収入の部合計	10,204,520,316		

【資金収支計算書・活動区分資金収支計算書の概要】

資金収支計算書は、会計年度中に行われた資金の動きを表したもので、活動区分資金収支計算書は、その資金の動きを活動区分ごとに集計したものです。

4月に開院した附属桜の森病院の収入が「付随事業・収益事業収入」のうちの「医療収入」として、経費が「教育研究経費支出」のうちの「医療経費支出」として、当会計年度から新しく計上しています。

●活動区分資金収支計算書 令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位：円)

科 目	金額
教育活動資金収入計	5,552,060,302
教育活動資金支出計	4,702,988,343
差引	849,071,959
調整勘定等	△ 4,301,332
教育活動資金収支差額	844,770,627
科 目	金額
施設整備等活動資金収入計	47,667,000
施設整備等活動資金支出計	998,776,286
差引	△ 951,109,286
調整勘定等	222,938,105
施設整備等活動資金収支差額	△ 728,171,181
小計（教育活動資金収支差額＋施設整備等活動資金収支差額）	116,599,446
科 目	金額
その他の活動資金収入計	933,202,035
その他の活動資金支出計	1,125,678,506
差引	△ 192,476,471
調整勘定等	112,168
その他の活動資金収支差額	△ 192,364,303
支払資金の増減額（小計＋その他の活動資金収支差額）	△ 75,764,857
前年度繰越支払資金	3,690,354,891
翌年度繰越支払資金	3,614,590,034

●事業活動収支計算書 令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位：円)

科 目	金額
学生生徒等納付金	4,412,083,300
手数料	78,897,248
寄付金	28,156,614
経常費等補助金	575,403,816
付随事業収入	282,202,334
雑収入	175,316,990
教育活動収入計	5,552,060,302
科 目	金額
人件費	3,166,700,102
教育研究経費	1,975,662,112
管理経費	397,023,800
徴収不能額等	0
教育活動支出計	5,539,386,014
教育活動収支差額	12,674,288
科 目	金額
受取利息・配当金	112,878,175
その他の教育活動外収入	0
教育活動外収入計	112,878,175
科 目	金額
借入金等利息	27,315,887
その他の教育活動外支出	0
教育活動外支出計	27,315,887
教育活動収支差額	85,562,288
経常収支差額	98,236,576

●貸借対照表 令和4年3月31日現在

資産の部	科 目	本年度末	前年度末	増減
固定資産		17,805,783,333	17,599,039,931	206,743,402
有形固定資産		17,482,460,198	17,288,631,598	193,828,600
特定資産		300,000,000	300,000,000	0
その他の固定資産		23,323,135	10,408,333	12,914,802
流動資産		5,450,355,765	5,533,718,520	△ 83,362,755
資産の部 合計		23,256,139,098	23,132,758,451	123,380,647
負債の部	科 目	本年度末	前年度末	増減
固定負債		3,278,118,565	3,521,562,267	△ 243,443,702
流動負債		1,824,562,496	1,568,408,526	256,153,970
負債の部 合計		5,102,681,061	5,089,970,793	12,710,268
純資産の部	科 目	本年度末	前年度末	増減
基本金		26,530,674,619	25,548,047,313	982,627,306
繰越収支差額		△ 8,377,216,582	△ 7,505,259,655	△ 871,956,927
純資産の部 合計		18,153,458,037	18,042,787,658	110,670,379
負債及び純資産の部 合計		23,256,139,098	23,132,758,451	123,380,647

●財産目録 令和4年3月31日現在

(単位：円)

資産総額	23,256,139,098
基本財産	17,505,783,333
運用財産	5,750,355,765
負債総額	5,102,681,061
正味財産	18,153,458,037

【貸借対照表と財産目録の概要】

貸借対照表は、資産や負債の状況を表すもので、財産目録はその内訳を表すものです。

当年度は、総資産額は白子キャンパス1号館5～7階の改修工事や、救急救命学科の施設改修・備品の取得などにより増加しています。総負債額は、借入金の返済により減少しています。その結果、正味財産（総資産－総負債）は、1.1億円増加しています。

学生相談室通信

学生相談室 カウンセラー 村山 諒太

はじめまして。今年度から、学生相談室で毎週木曜日に勤務しています村山諒太です。今年度が始まり、早くも3か月が過ぎようとしています。新生活にも慣れてきたところでしょうか。私も社会人1年目で、ばたばたしながらも新生活に慣れようとしています。ものごとに慣れるペースというものは人それぞれですので、焦らずに自分のペースで皆さんも私も歩んでいけたらいいと思います。

さて、今年の梅雨は早いと言われていますが、この文章を皆さんが読まれる頃には、梅雨は明けているのでしょうか。湿度が高くなり、外に出るのが億劫になる時期ですね。(私が4月から勤務をした6回中4回は雨でした) そんな時は、少し視点を変えてみると面白い発見があるかもしれません。雨は鬱陶しいですが、雨音にはリラックス効果があるとも言われています。雨をただ鬱陶しいと感じるのではなく、少しだけ雨音に耳を傾けると雨が好きになるかもしれませんね。このような新しい発見には、自分以外の視点が重要になってきます。新しい視点を持つことは自分だけでは解決が困難な時に役立つものです。学生相談ではその発見のお手伝いもさせて頂いています。一人では解決方法が分からないとなった時には、ぜひ学生相談室にお立ち寄りください。木曜日に来室される際には、なぜか雨が多いので、お手数ですが傘をお持ちください。



「身長を測るのは慎重に」

先日テレビを見ていたら、マツコ・デラックスが「身長が5cm縮んだ。年に1cmペースで縮んでる」と話しているのを耳にした。半分は冗談だろうと思った。だって、年に1cm縮んだら、身長170cmの人が20年で150cmになっちゃうじゃん。そんなことある訳ないよね。だけど、年を取ると背が縮むという話は聞いたことがある。おじさんも試したくなって、病院に行ったついでに身長を測ってもらった。ガッピン！ウソでしょ。な、な、なんと、2cm以上縮んでるがや。「か、か、看護師さ〜ん！もう1回慎重に身長測ってくださいか」なんて、ダジャレ言ってる場合じゃないよ。やっぱり、背が縮むっていうのは本当だったんだ。おじさん、ショック。高くない身長が余計に低くなっちゃった。勘弁してよ〜。

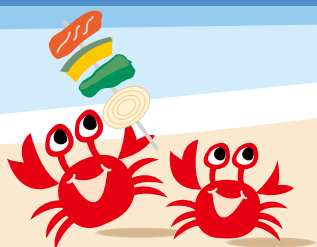
だけど、なんで縮むんだ？骨は縮まないだろ。しかも、身長測る時はビシッと背筋を伸ばして測ってるしな〜。髪の毛が薄くなったからか？そんなの影響しないだろう。面の皮は厚くなったけど、踵の肉は薄くなったのか？調べてみると、加齢によって身長が縮む原因は、①姿勢の悪さ、②筋力の衰え、③水分の減少、④骨粗しょう症、などだと言う。

まあ、おじさんの場合、姿勢と骨粗しょう症はともかく、筋肉の衰えは確実だ。筋肉量は25〜30歳頃が

ピークで、あとはどんどん減り続けるらしい。筋肉が減り身体機能に障害が出るとサルコペニアって言われるし、脊椎や骨盤を支える筋力が低下してくると、身長に影響するらしい。要するに、背が縮んじゃうって言うことだ。

水分の減少も身長に大きく影響してるらしい。オギャーと産まれた赤ちゃんは体重の80%が水分だと言うが、加齢とともに減って行き、成人では約60%、高齢になると50%台になるらしい。老化って、「身体から水分が失われていくこと」なんだね。人間の背骨は固い骨の椎体と弾力性のある椎間板が交互に積み重なって出来ていて、この椎間板の水分量が加齢とともに減少するらしい。「椎間板ヘルニアって言うの？」椎間板の水分が減るにあ？「全然違うよ、そんなわけないだろう」椎間板の水分量は20歳ごろには88%なのに老年になると70%になるんだとか。そのため椎間板の厚みが薄くなって、身長が低くなっちゃうらしいんだ。

「40歳以降は平均すると10年で1cm縮む」という説もあるらしい。50歳以上の人はずいぶん身長を測ってちょ。でも、年に1cmペースだったらヤバいから、あくまでもシンチョウにお願いしますがや。あんた、どこの人？



三重県栄養士会と包括協定および覚書を締結しました



三重県栄養士会 池山副会長と井後会長・
本学 高木理事長と豊田学長（左から）

7月1日（金）、公益社団法人三重県栄養士会と学校法人鈴鹿医療科学大学は、連携・協力に関する包括協定を締結し調印式を行いました。また、包括協定に基づき、「災害時等における施設利用の協力に関する覚書」および「災害支援車両の設置・管理に関する覚書」を交わしました。栄養士会と大学が協定を締結し、災害支援車両の管理と運用を行うのは、全国で初の試みです。

本協定は、それぞれの資源を活用し、医療栄養学科の学生の育成及び管理栄養士・栄養士の資質向上など双方の教育・研究活動の発展に寄与するとともに、地域住民の健康・医療・福祉・食育に貢献するため、相互に連携と協力を深めることを目的としています。

「災害時等における施設利用の協力に関する覚書」においては、県内に震度5強以上の地震や大規模災害等が発生し（又は発生が予測される場合）、三重県

栄養士会災害対策本部を構える建物が被災し本部機能が果たせなくなった際に、本学施設の一部を利用して当会の災害対策事業が実施できるよう、本部を設置することとなりました。

「災害支援車両の設置・管理に関する覚書」においては、日本栄養士会から当会に管理と運用を委託された災害支援車両（JDA-DAT河村号）1台を本学千代崎キャンパス内に設置します。双方が本車両を活用することにより、災害時における県民の健康管理等、医療栄養学科の学生の育成及び管理栄養士・栄養士の資質向上など双方の教育・研究活動の発展につなげていきます。

キッチン資材を搭載したキッチンカーであるJDA-DAT河村号は、平時は各都道府県栄養士会でのJDA-DAT活動や復興支援プロジェクト、防災イベント等で広報活動を行っています。災害時には、JDA-DAT災害支援車両として活動します。これまでに、関東・東北豪雨災害・熊本地震・大阪北部地震・西日本豪雨災害・北海道胆振東部地震・台風災害等で支援活動を行い、成果を上げてきました。スタッフの移動手段として、また特殊栄養食品（母乳代替食品、離乳食、食物アレルギー対応食、濃厚流動食、経管栄養剤、介護食、とろみ剤、低タンパク質食など）等を被災者のもとへ届けて栄養面での支援を行います。

現在JDA-DAT活動の訓練を受けた専門性の高い指導者は県内に8名おり、そのうち2名は本学医療栄養学科に所属する教員です。調印式の後、その教員がJDA-DAT河村号の展示説明と、キッチンボックスを使用して災害時に役立つパッキングの実演を行いました。

<企画広報課>



災害支援車両 JDA-DAT河村号



JDA-DATリーダーの医療栄養学科
大槻誠准教授と若杉悠佑助教

行事予定

2022年8月～11月

8月1日（月）～5日（金）

前期・夏期定期試験と解説

7日（日）夏の第3回オープンキャンパス

8日（月）夏の第4回オープンキャンパス

9日（火）～17日（水）夏季一斉休暇

22日（月）～26日（金）前期・夏期追・再試験

9月1日（木）FD・SD講演会

7日（水）後期ガイダンス

8日（木）後期授業開始

19日（月・祝）授業日・総合型選抜（1期）

23日（金・祝）金曜授業日

24日（土）大学院1期入試

10月8日（土）補講日

10日（月・祝）総合型選抜（2期）・編入学試験（第1回）

10月22日（土）補講日

27日（木）・28日（金）秋期定期試験と解説

11月1日（火）・2日（水）・7日（月）

秋期定期試験と解説

5日（土）補講日

11日（金）大学祭準備（休講）

12日（土）・13日（日）大学祭

14日（月）大学祭片付け（休講）

17日（木）学校推薦型選抜（推薦）

千代崎：休講 白子：補講日

18日（金）学校推薦型選抜（推薦）

千代崎：休講（立入禁止） 白子：休講

26日（土）補講日

※上記予定は変更になる場合があります。サマスポおよびホームページで最新情報を確認してください。